

## Venice Glass Week（イタリア、ヴェネチア）

報告者： 工芸学科ガラス研究室 行武治美

期間： 2024/9/13～9/22

場所： Venice, Murano, Italy

参加者： 工芸学科ガラス研究室より

引率： 行武治美 教授

今井瑠衣子 助手

学生： 大学院2年生：新井 陽太、宮内 萌音

大学院1年生：コウ シラク、リク ナン

学部4年生：ハン シンウ、リュウ ゲンシ、レイモンド愛華エリザベス

主会場： Istituto Veneto di Scienze, Lettere ed Art

研修の目的：研修旅行の主な目的は、異なる文化や価値観に触れることで、学生の視野を広げ国際的な視

点を養うことです。展覧会やワークショップを通じてガラスアートの歴史や最新トレンドを学

び、国際的なアーティストや職人との交流を深めることで、制作活動に活かします。

また、日本国内のガラス教育機関は約15校と少なく、最新情報を得るためには海外に出向く

必要があります。今年度の国際交流活動運営費を活用し、The Venice Glass Week に大学院生

と4年生の有志を連れて参加しました。

詳細日程：

9/14pm 現地着

9/15am Cesare Toffolo 氏工房訪問  
Fondamenta dei Vetrai, 37  
30141 Murano - Venezia



9/15pm ムラノガラス美術館  
Isola di San Giorgio  
Maggiore 8 - 30124  
Venezia  
[info@lestanzedelvetro.org](mailto:info@lestanzedelvetro.org)  
[www.lestanzedelvetro.org](http://www.lestanzedelvetro.org)



9/16am Carlo Dona Tool 工房/ショップ  
(ガラス工具ショップ)

Toso & Barobier 展示など  
Murano 島内の展示訪問



9/16pm Murano 島内 Hotshop 訪問

Davie Salvatore Studio  
Ferro Toso Studio など

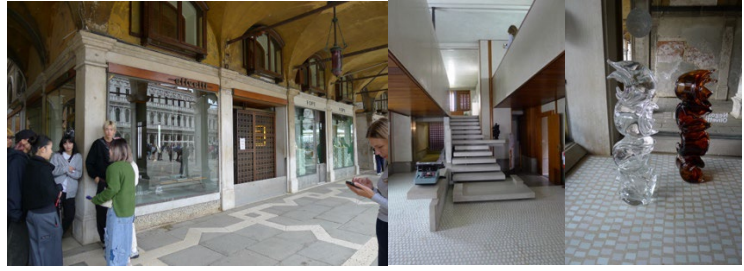


"Sono Lino"上映会

2023年に公開されたドキュメンタリー映画で、世界的に有名なガラス吹き職人、リノ・タリアピエトラの人生と遺産を描いています。

9/17am Oribetti ショールーム  
(Carlo Scarpa リノベ)

“Jeff Koons”ガラス展示



9/17pm European Cultural Council  
Palazzo Mora 訪問

Ms. Micaela Skerl (アート  
展覧会オーガナイザー) による説明を受ける



Venice Glass Week 主会場

Venice 内のガラス展示：街  
の様々な場所でガラス作品が  
展示され、vaporetto (船)  
も展示会場となっていた



9/18am Lino Tagliapietra 氏スタジ  
オ/ギャラリー訪問  
巨匠直々に案内を受け、一般  
公開していない美術館準備室  
のアーカイブ作品も拝見



Seguso ガラス館訪問  
(撮影不可のため写真なし)  
ヴェネチアに 600 年以上続  
く老舗ガラス会社の資料館を  
訪問。歴史的に重要なガラス  
展示物を、ご子息の案内で拝  
観



その他近隣ギャラリーの展示  
訪問



9/18pm

“Future Glass”ワークショップ  
講評会の見学

ガラスの産業廃棄物を減らし、いかに社会に循環させるかをテーマとしたワークショップ。



9/19am

Universita luav di Venezia  
大学訪問  
Cotonificio Dorsoduro 2196,  
Venezia  
[www.iuav.it](http://www.iuav.it)

ワークショップを行った大学の  
本キャンパスを Maria  
Antonia Barucco 先生に案内  
していただく



9/19pm

Palazzina Masieri  
(Negropote gallery として  
VGW 作品を展示)

Palazzina Masieri は Carlo  
Scarpa により内装がリノー  
ベーションされた建物。近年レ  
ストアを担当された Ms.  
Roberta Bartolone 氏に建築  
について説明を受ける



9/20

ベニスビエンナーレ

2024 年のテーマは  
「Foreigners Everywhere  
(外国人はどこにでもい  
る)」

このテーマは、国境や国籍を  
超えた人々の移動と存在に関  
する様々な問題を反映しており、  
人種、アイデンティティ、  
国籍、ジェンダー、セク  
シュアリティ、自由、貧富の  
差などを表現することを目指  
している。





9/21 ベニス マルコ・ポーロ空港発 →ドバイ経由

9/22 成田着

## Venice Glass Week 研修概要

Venice Glass Week のイベント企画はベニスやムラノの各地で行われ、デモ、レクチャー、展示、パーティー、ツアーなど、合計 151 もの企画があり 1 週間の滞在では回りきれない規模でした。著名な現代美術作家ジェフ・クーンズが建築界の巨匠カルロ・スカルパのオリベッティショールームで展示を行うなど、作品のみならず建築の素晴らしさにも触れられる展示の数々でした。ムラノのガラス美術館もミルクガラスやカルセドニーガラス、圧巻のムリーニ展示室など、深い歴史と豊かな伝統と技術を感じさせる素晴らしいものでした。

## 現代ガラスの巨匠との交流

今回の研修では、現代ガラスの巨匠であるリノ・タリアピエトラ氏とチェザーレ・トッフォロ氏から直接作品や歴史の説明を受け、秘蔵のプライベートコレクションを拝見する貴重な機会を得ました。伝説のマエストロに作品写真を見ていただき、お褒めと激励の言葉をいただきましたことは、今後の作家活動の大きな励みになることでしょう。

## 教育機関との交流

ヴェニス の二つの大学が合同で行うワークショップの講評会に参加し、「Future Glass」についての発表を見学しました。SDGs の観点からガラスの未来を考える内容で、多摩美術大学も AGC との共同授業で研究課題としている内容であり、大変興味深いものでした。

## ガラス製作の道具

ガラス製作のための道具を製造する工房を訪れ、カスタムフィットした道具を購入することができました。これにより、今後の制作に直接的な影響を与えることが期待されます。

## ベニスビエンナーレ

最終日にはベニスビエンナーレを訪れ、学生にとってはガラスのみならず、世界の現代美術の動向を知る大変有意義な研修となりました。

## 帰国後の展望

帰国して早々に、今回訪問した「European Cultural Council」より多摩美術大学として 2026 年の展覧会に参加しないかとの打診を受けました。また、米国コーニング美術館関係者や作家とリコネクトできたことも大変大きな収穫でした。

**The Venice Glass Week** について （ホームページより抜粋翻訳）

<https://theveniceglassweek.com/en/>

The Venice Glass Week (ヴェネツィア・グラス・ウィーク) は、2017年に設立されたイタリアのガラス芸術分野における国際学会の位置付けで「ガラスアートを祝福し、支援し、促進するため」に開催されます。第8回のフェスティバルは2024年9月14日から22日まで、ヴェネツィア、メストレ、ムラーノで開催されます。フェスティバルへの応募企画は、国際的なガラス分野の専門家からなるキュレーション委員会によって審査され採択されます。この委員会は、ヴェネツィアのガラス歴史家である Rosa Barovier Mentasti 氏を委員長とし、その他の委員には、ウィーンの MAK オーストリア応用美術館のガラスと陶磁器コレクションの責任者である Rainald Franz 氏、コペンハーゲンのロイヤルデンマークアカデミーの展示責任者であり、デンマークのボーンホルムにあるヨーロッパのガラスとセラミックのコンテクストのディレクターである Susanne Jøker Johnsen 氏、ギャラリストでキュレーターの Jean Blanchaert 氏、そして美術史家、作家、キュレーターの Alma Zevi 氏が含まれます。

また、The Venice Glass Week は、フェスティバルの一環としてイタリアまたは海外の組織、機関、企業、個人からの独自のイベントやプロジェクトの企画の応募を歓迎します。提案は展覧会やインスタレーション以外にも、会議、ワークショップ、ガイドツアー、パフォーマンス、テーマディナー、子供向けの活動など、芸術的なガラスに関連するあらゆる取り組みを含みます。フェスティバルは最高の基準と品質のプログラムを提供することを目指して、キュレーション委員会は、フェスティバルのために新しく考案されたイベントやプロジェクト（長期展示を除く）の応募も検討します。

The Venice Glass Week は、ベネチア市、市立美術館財団、Fondazione Giorgio Cini – LE STANZE DEL VETRO、Pentagram Stiftung、Istituto Veneto di Scienze, Lettere ed Arti、および Consorzio Promovetro Murano によって推進され、Veneto 州の「主要イベント」に再び咲きました。





